

山科の里山と清流を楽しむ◆牛尾山ハイキング道

大蛇伝説も残る小山地域。「音羽(おとわ)山」や「音羽川」は古代より多くの和歌にも詠まれてきた風光明媚なところです。赤とんぼが飛びかい、棚田に彼岸花が咲きほころぶ風景には誰しも郷愁を感じます。清流のせせらぎに耳を傾けながら山道をゆったりと歩いてみませんか。

交通案内 京阪電車京津線追分駅下車
 小山バス停からスタートする場合は、山科駅から京阪バス(20番・21番)に乗車

順路 距離 約7km(往復)
 京阪追分駅 ⇒ 小山バス停 ⇒ 京の田舎民具資料館 ⇒ 白石神社 ⇒ 大師堂 ⇒ 桜の馬場 ⇒ 牛尾観音

16分 4分 8分 9分 20分
 8分

※地図中の数字(370.0などは)は標高(m)

D
コース



- 1「京の田舎民具資料館」**
 小学校の元校長先生が、近所の農家などから収集した昔の貴重な生活・生産道具を展示している博物館です。昔の庶民の暮らしぶりや生活の知恵を学ぶことができます。
- 2「山の神・二九(にのこう)」**
 毎年2月9日、わらでつくった大蛇を奉納して山の神を祀る伝統行事です。音羽川沿いにある小山(こやま)地域に700年近くにわたって続いています。京都市無形民俗文化財(登録)。
- 3「分水石(ぶんすいせき)」**
 昔、この地域で田畑に引きこむ水をめぐっての争いが多かったため、川の中に水の流れを一定の比率に分ける石を設けて水争いをおこなうのを防いだそうです。
- 4「円如(えんによ)上人御廟所」**
 円如(1491~1521)は蓮如(本願寺8世、浄土真宗中興の祖)の孫に当たる人です。30歳で亡くなる日まで、蓮如の生前の手紙を「御文章(ごぶんしょう)・御文(おふみ)」としてまとめ、後世の人に残しました。
- 5「白石(しらいし)神社」**
 境内にはご神体である高さ4m、長さ9mほどの白色の巨岩があります。石の上には楔(くさび)を打ち込んだ跡があり、秀吉が築城のために割って使おうとしたのではないかと伝えられています。
- 6「牛尾(うしお)観音・法蔵寺(ほうぞんじ)」**
 法相(ほうそう)宗の寺院。昔、修行僧が淀川に金の水が流れているのを見つけ、たどっていくと音羽山に行きついたという伝説があり、これが開山のいわれとなっているそうです。

